乙第4の1号証

平成28年8月29日（木）琉球新報

<29面>

防衛省 被害届へ

着陸帯工事 反対運動で「暴行」主張

東村・国頭 ヘリパッド工事再開

米軍北部訓練場のヘリパッド移設工事を巡り、沖縄防衛局が「N1裏」と呼ばれる地点で抗議の市民らを基地内に入らせないためのフェンスを設置した際に、一部の市民と衝突が発生し、沖縄防衛局の職員2人がけがをしたとして、防衛省は29日にも県警に被害届を出す方針を固めた。職員が持っていた書類も奪われたとして、窃盗や強盗でも併せて被害届を出すことを検討している。（1面に関連）

現場では市民と機動隊のもみ合いが起き、市民の側に連日けが人が出るなど、衝突が激しくなっている。

政府関係者によると、29日に沖縄防衛局と県警が当時の状況を確認する予定。

現場近くには工事に抗議する市民がテントを設置している。フェンスは防衛局が今月25、26日に設置したが、作業の際に防衛局の職員2人が抗議の市民からテントの中に引き込まれ、けがをしたという。防衛省関係者は「暴行を受けた」としている。

乙第4の2号証

平成28年9月18日（日）琉球新報

<32面>

男が抗議市民殴る

2人けが 車止められ激高

高江

東村・国頭 ヘリパッド工事再開

【ヘリパッド取材班】国頭村と東村に広がる米軍北部訓練場の新たなヘリコプター着陸帯（ヘリパッド）建設を巡り、工事に反対して抗議運動をしていた男女2人が東村民を名乗る男に首を押さえ付けられたり、殴られたりして負傷した。男性は頸椎打撲、女性は左頬部打撲のけが。

現場にいた人らによると、東村民を名乗る男はN1裏ゲート近くを車で通ろうとした際、工事関係者かどうか確認しようとした市民らに通行を止められたことに激高。車から降りて「東村民だ」と名乗り、男性の首を絞めた。

その状況を写真に収めようとした女性の顔を1回殴った。暴行を受けた男女は名護署に被害届を出した。

工事に反対する約180人は17日、N1地区ゲート前に座り込んで抗議行動を展開。ダンプカーやヘリによる資材搬入は確認されなかった。

この日は工事車両の搬入もなかったことから、座り込みの人たちと機動隊ともみ合いはなく、一般車両はN1地区ゲート前を通行することができた。

乙第4の3号証

平成28年9月22日（木）琉球新報

<26面>

携帯電話と眼鏡奪われる

抗議運動の60代男性

【ヘリパッド取材班】米軍北部訓練場の新たなヘリパッド建設を巡り、工事に反対して抗議運動をしていた60代男性の携帯電話と眼鏡が21日、東村高江の展望台で東村民を名乗る男性に奪われた。60代男性は被害届を出すことを検討している。

乙第4の4号証

平成28年9月27日（火）琉球新報

<30面>

東村・国頭 ヘリパッド工事再開

防衛局職員が転倒し被害届

市民暴行と主張

記事①

【ヘリパッド取材班】東村と国頭村に広がる米軍北部訓練場のヘリコプター着陸帯（ヘリパッド）の建設で、沖縄防衛局の男性職員が24日、建設に反対する市民らに暴行を加えられたとして、県警に近日中に被害届を出す方針を固めたことが26日分かった。

沖縄防衛局によると、暴行を受けたとする沖縄防衛局職員は新たなヘリパッドが造られるH地区の工事現場で、ほかの複数の職員と共に建設に反対する市民らの抗議行動を阻止しようとしていた。市民らとのもみ合いの中で職員の一人があおむけに倒れ、砂利を敷いた路面に頭を強くぶつけたという。

作業員乗り込み車脱輪、パンク

市民、器物損壊訴える

記事②

【ヘリパッド取材班】東村と国頭村に広がる米軍北部訓練場のヘリコプター着陸帯（ヘリパッド）建設で、反対する市民によると26日早朝、作業員の進入を阻止するため道路をふさいでいた市民の車1台に作業員が乗り込み、運転して側溝に脱輪させた。車のタイヤ1本がパンクし、市民側は器物損壊で告訴する方針。

午前5時ごろ、市民3人がH地区方面に作業員が入るのを阻止しようと車を止めて道路をふさいだが、作業員に排除されたという。

作業を受注しているとみられる業者2社に事実関係を確認したところ、1社は「そういうことはなかったと聞いている」と回答した。もう1社は26日夜時点で回答がない。